

基本問題小委員会における検討課題（案）

1. 今後の建設業政策の方向性

○建設市場の変化や建設企業の経営に関する状況等、建設業を取り巻く社会経済情勢について議論し、今後の建設業政策の基本的方向を検討

（建設業を取り巻く情勢の例）

- ・ 建設市場の量的・質的な変化（建設投資の減少の歯止め、建設投資の質的な変化（メンテナンス、リフォーム等））
- ・ 高齢者の大量離職や人材獲得競争の激化
- ・ 地域の守り手としての役割の増大、地方自治体の発注能力の低下
- ・ 地域建設企業の経営上の課題や、多様な建設企業の存在 等

2. 主な検討課題例

（1）建設生産システムの適正化・効率化

○施工の専門化・分業化等を背景とする建設生産システムの重層構造において、施工責任の不明確化や労務費へのしわ寄せ、施工に携わらない企業等の課題が指摘される中、生産性の向上に資する観点から、民間工事も含め、建設生産システムの適正化・効率化を図る

※基礎ぐい工事問題の中間とりまとめで指摘された個別事項

○元請・下請の施工体制上の役割・責任の明確化と重層構造の改善

- ・ 元請の統括的な管理責任のあり方
- ・ 元請の監理技術者と下請の主任技術者の各々の施工管理上の役割の明確化
- ・ 下請の主任技術者の適正な配置のあり方
- ・ 実質的に施工に携わらない企業の施工体制からの排除と位置づけの再整理

○民間工事における関係者間の役割・責任の明確化と連携強化

- ・ 民間工事における発注者・設計者・元請・下請等の請負契約等の適正化
- ・ 施工の責任を専門的見地から審査・検証・調停する中立的な組織・機能の検討
- ・ 施工に関する情報の積極的な公開や失敗事例を共有し改善に繋げる業界の自主的な取組の推進

（2）建設業を支える技術者や担い手の確保・育成

○将来の社会資本の品質確保と適切な機能維持を図る観点から、優秀な技術者の確保育成を図るとともに、技能労働者の大量離職時代を控え、将来を担う若者の入職・定着をはじめ、中長期的な担い手確保に向けた方策を講じる

※基礎ぐい工事問題の中間とりまとめで指摘された個別事項

○技術者や技能労働者の処遇・意欲と資質の向上

- ・ 技術者制度のあり方
- ・ 技能労働者の就労構造のあり方
- ・ 技能労働者の経験が蓄積されるシステムの導入、就労環境の改善（社会保険未加入対策の徹底、適切な賃金水準の確保、週休2日制等職場環境の改善 等）

（3）建設企業の持続的な活動が図られる環境整備の推進

○地域の中小建設業が抱える企業の小規模化や後継者問題等の経営上の課題や、建設業における多様な建設企業の存在等を踏まえ、将来にわたる建設企業の持続的な活動に向けた環境整備を図る